

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 施工は必ず専門の工事業者の方が行なってください。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

#### 安全に関する記号 記号の意味


**注意**

- 取付けを誤った場合に、使用者などが中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

#### 一般情報に関する記号


**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


**補足**

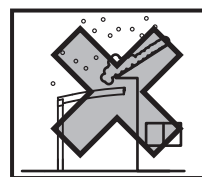
- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。


**注意**

- 製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

#### <施工の前に>

- ・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・ライブポートII 3000 (ワイド) (積雪地域用3000タイプ)は積雪(新雪)100cmを超えない地域に設置してください。
- ・建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- ・施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。  
排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・当製品は、雪が落ちやすい構造のため、隣地から最低50cm程度離して施工してください。また施工する敷地の条件によってはさらに離して施工してください。



**注意**

### <基礎工事について>

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（軟弱な地盤等）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

### <施工の際に>

- ・柱の移動は当社指定範囲内にしてください。
- ・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- ・ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコン	トスシール380
トーレシリコン	SE960

### <施工の後に>

- ボルト、ネジを増し締めしてください。
- 取扱説明書は施主様にお渡しください。

# INDEX

1	梱包明細表	4
2	基本寸法と各部名称	7
	1. 各部名称	7
	2. 基本寸法	8
3	基本の施工方法	10
	1. 基礎の施工	10
	2. 柱と梁の取付け	11
	3. ワイド棟木・母屋・後枠(落雪用)の取付け	12
	4. 側枠・アーチ・補強アーチの取付け	13
	5. 屋根パネルの取付け	14
	6. 縦樋の取付け	15
4	縦連棟の施工方法	16
	1. 基礎の施工	16
	2. 本体の連結	17

## 1 梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。


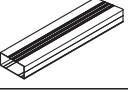
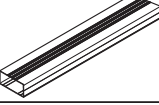
## 【1】 部品セット

名 称	略 図	員 数		
		50型	56型	12型
後枠コーナーキャップR(落雪用)		2	2	—
後枠コーナーキャップL(落雪用)		2	2	—
柱固定金具		6	6	2
柱固定金具裏板		6	6	2
梁端部キャップA		6	6	2
梁端部キャップB		6	6	2
ワイド棟木キャップ		2	2	—
ワイド棟木取付け金具		6	6	2
アーチカバーキャブ		16	18	4
柱スペーサー		9	9	3
アンカー棒		6	6	2
ブチルシーリング材		1	1	1
穴隠しシール		79	79	26
雨樋アタッチメント		2	2	2

【1】 部品セット (つづき)


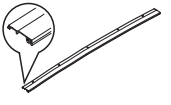
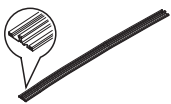
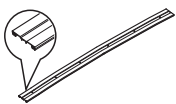
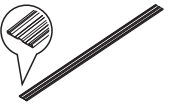
名 称	略 図	員 数		
		50型	56型	12型
雨樋穴ふさぎキャップ		2	2	2
アタッチメントパッキン		4	4	4
ドレンエルボ φ40用		2	2	2
92° エルボ φ40用		4	4	4
でんでん		6	6	6
接着剤		1	1	1
【1-1】 φ4×10ワッシャーヘッドネジ		482	520	134
【1-2】 φ4×13ナベドリルネジ		220	244	64
【1-3】 φ4×13ナベドリルネジ (色付き)		22	24	4
【1-4】 M10×40六角ボルト		48	48	16
【1-5】 M10平座金		48	48	16
【1-6】 M10バネ座金		48	48	16
【1-7】 M10六角ナット		24	24	8
取扱説明書〈UD095〉	—	1	1	—
取付説明書〈D469〉	—	1	1	—

【2】 支柱セット

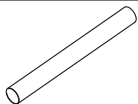
名 称	略 図	員 数		
		H18 2本入	H23・凍上H18 2本入	凍上H23 2本入
標準柱 H18		2	—	—
ロング柱 H23・凍上標準柱H18		—	2	—
凍上ロング柱H23		—	—	2

■ 梱包明細表 (つづき)


【3】 幅セット

名 称	略 図	員 数	
		50型	56型
側枠R		1	1
側枠L		1	1
側枠カバー		2	2
アーチ		7	8
アーチカバー		7	8
補強アーチ		8	9

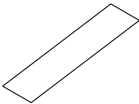
【4】 竖樋セット

名 称	略 図	員 数
竖樋 L=3100 φ40		1

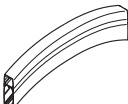
【5】 ワイド棟木セット

名 称	略 図	員 数		
		50型	56型	12型
ワイド棟木		1	1	1

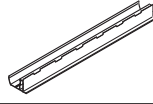
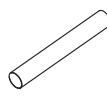
【6】 屋根材セット

名 称	略 図	員 数		
		1枚入	3枚入	4枚入
屋根パネル		1	3	4

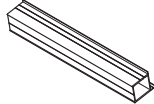
【7】 梁セット

名 称	略 図	員 数
		1本入
梁		1

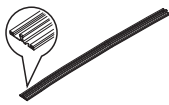
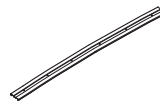
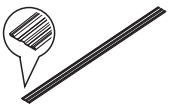
【8】 長さセット

名 称	略 図	員 数		
		50型	56型	12型
後枠 (落雪用)		2	2	2
竖樋 L=3100 φ40		2	2	—

【9】 母屋セット

名 称	略 図	員 数
		4本入
母屋		4

【10】 連棟用幅セット

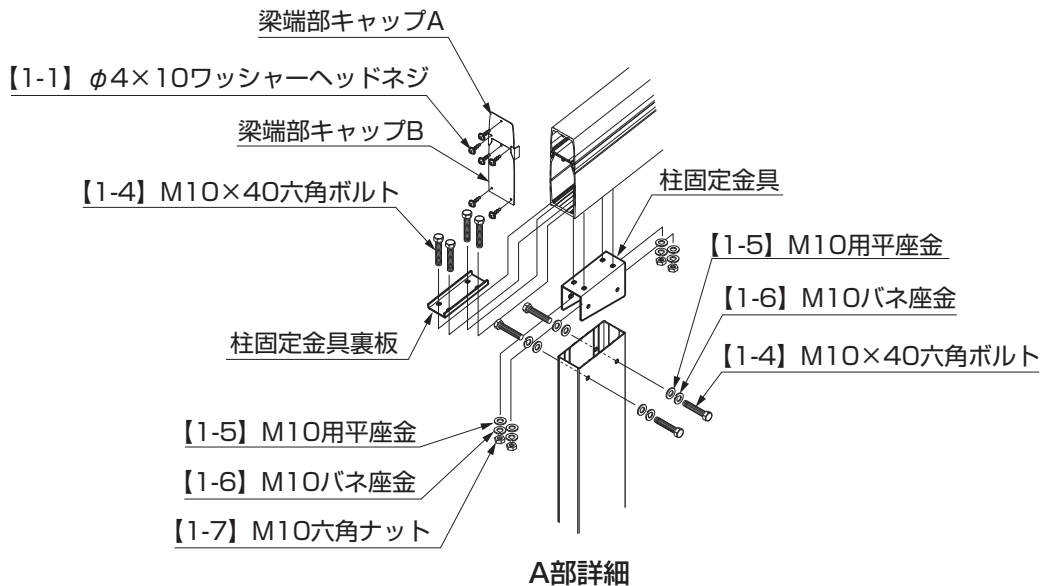
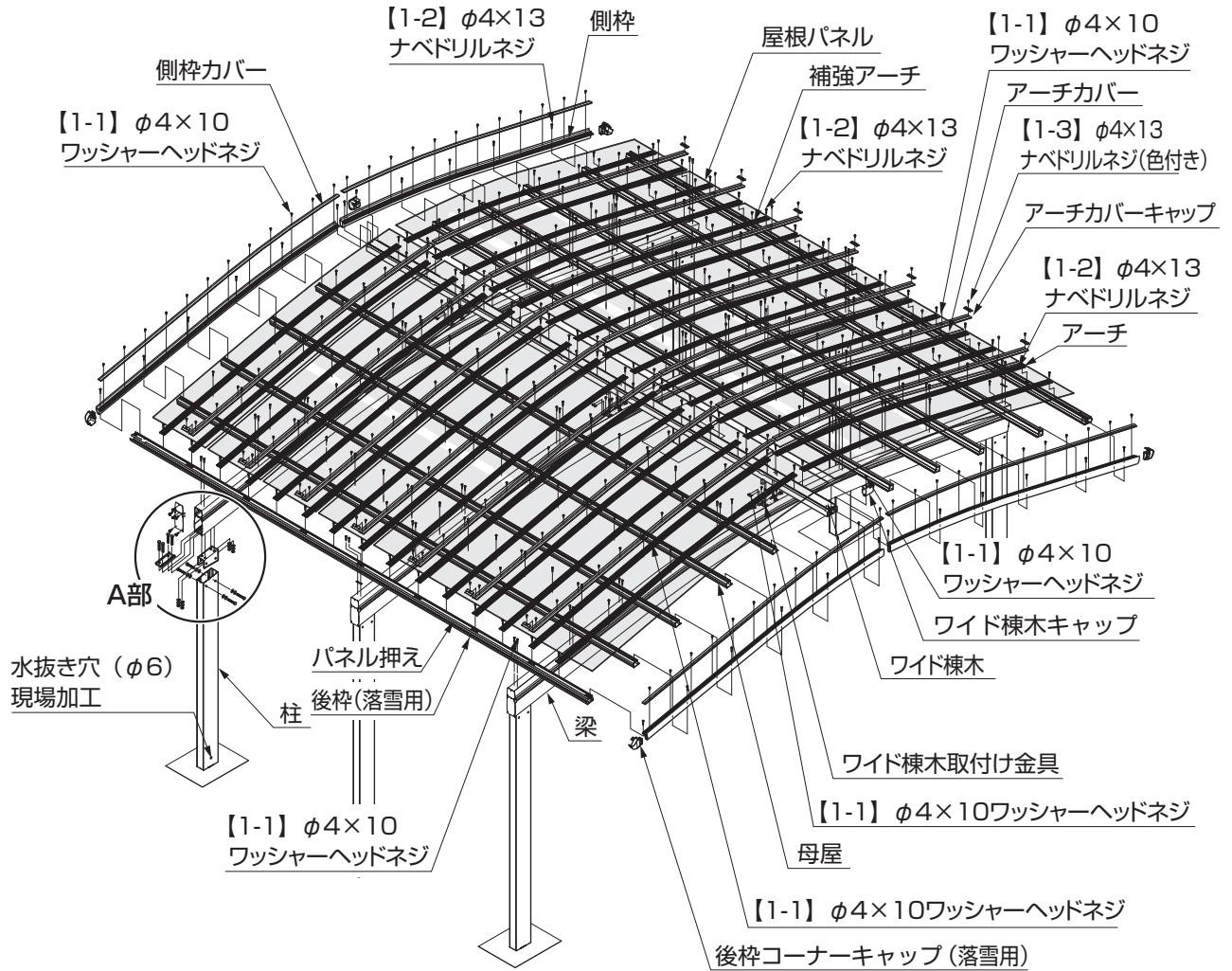
名 称	略 図	員 数		
		50型	56型	12型
アーチ		8	9	2
アーチカバー		8	9	2
補強アーチ		8	9	2

【11】 連棟部材セット

名 称	略 図	員 数
後枠スリーブ (落雪用)		2
ワイド棟木スリーブ		1
母屋スリーブ		8
ワイド棟木止水パッキン		1
【11-1】 φ4×13 ナベドリルネジ		114

## 2 基本寸法と各部名称

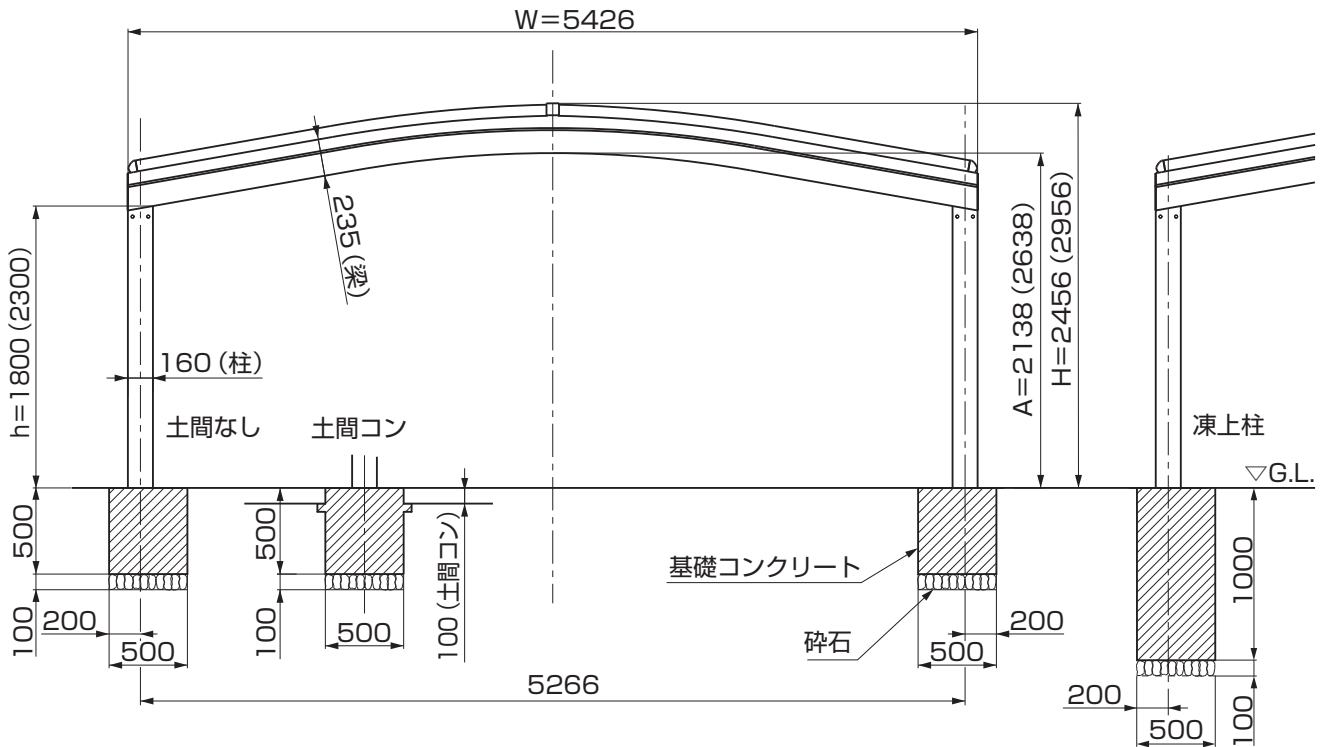
### 1. 各部名称



## 2. 基本寸法

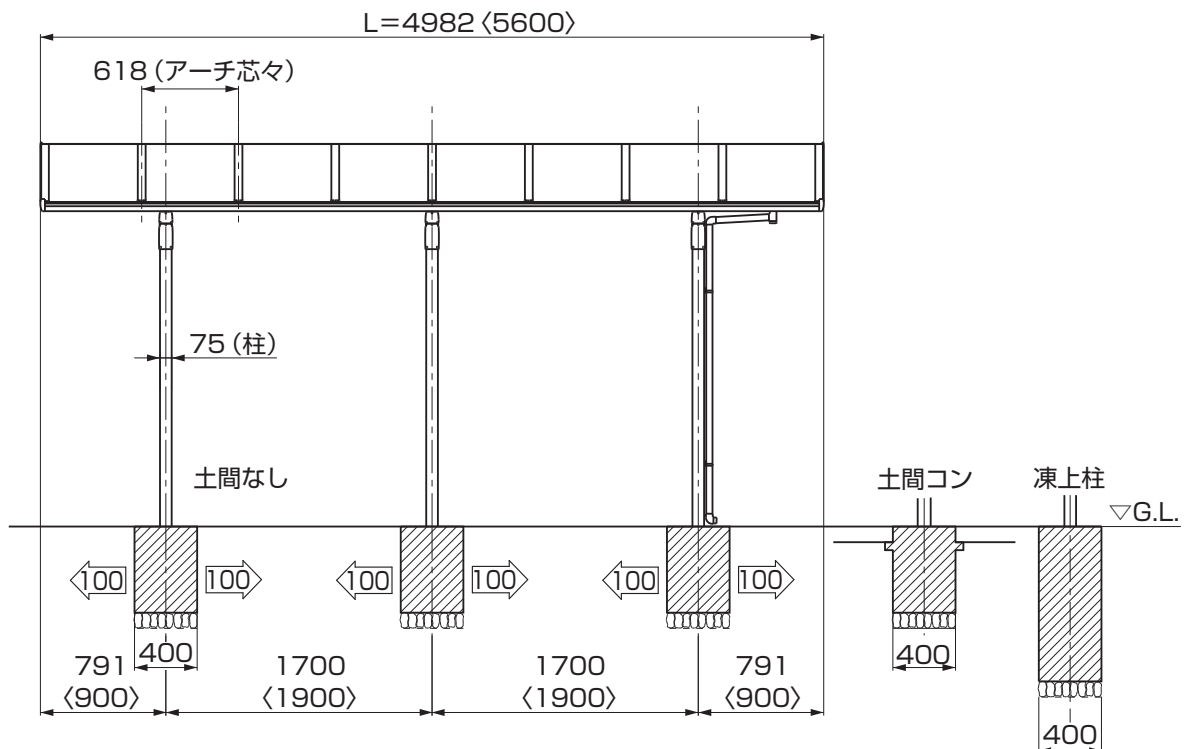
※図は標準柱仕様を示します。( )はロング柱H23仕様を示します。

### 2-1 間口



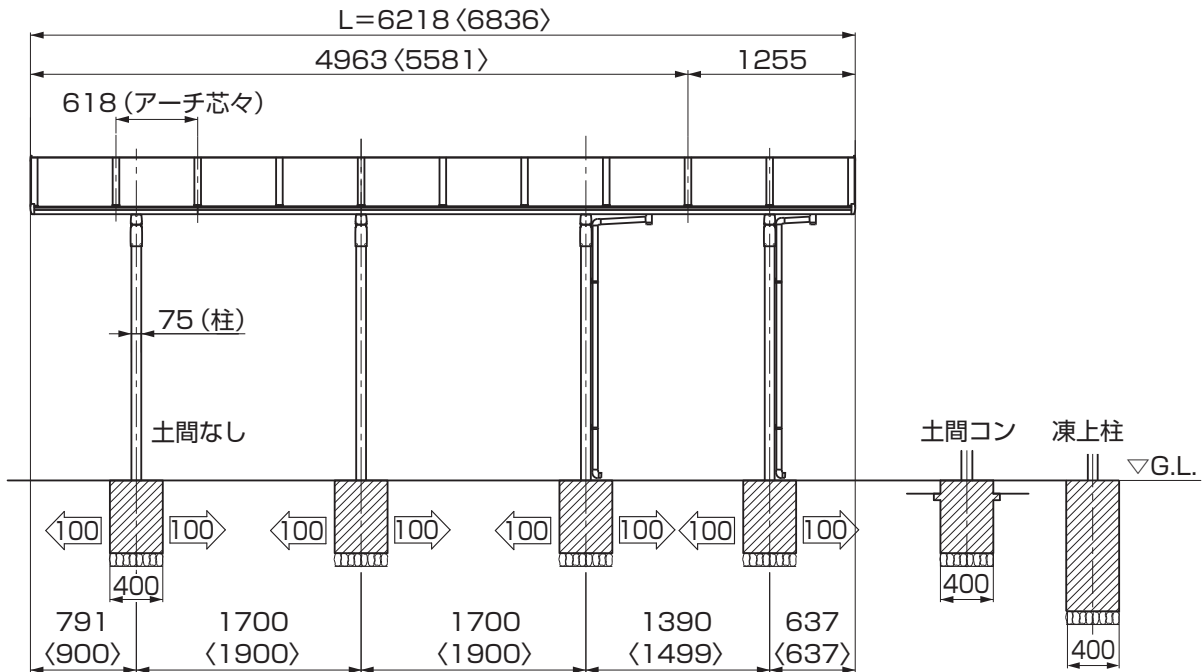
### 2-2 奥行き50・56型

※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。  
 ※〈 〉は奥行き56型を示します。





**2-3 奥行き12延長タイプ** ※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。  
※〈 〉は奥行き56型を示します。



**2-4 奥行き縦連棟タイプ** ※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。  
※〈 〉は奥行き56型を示します。

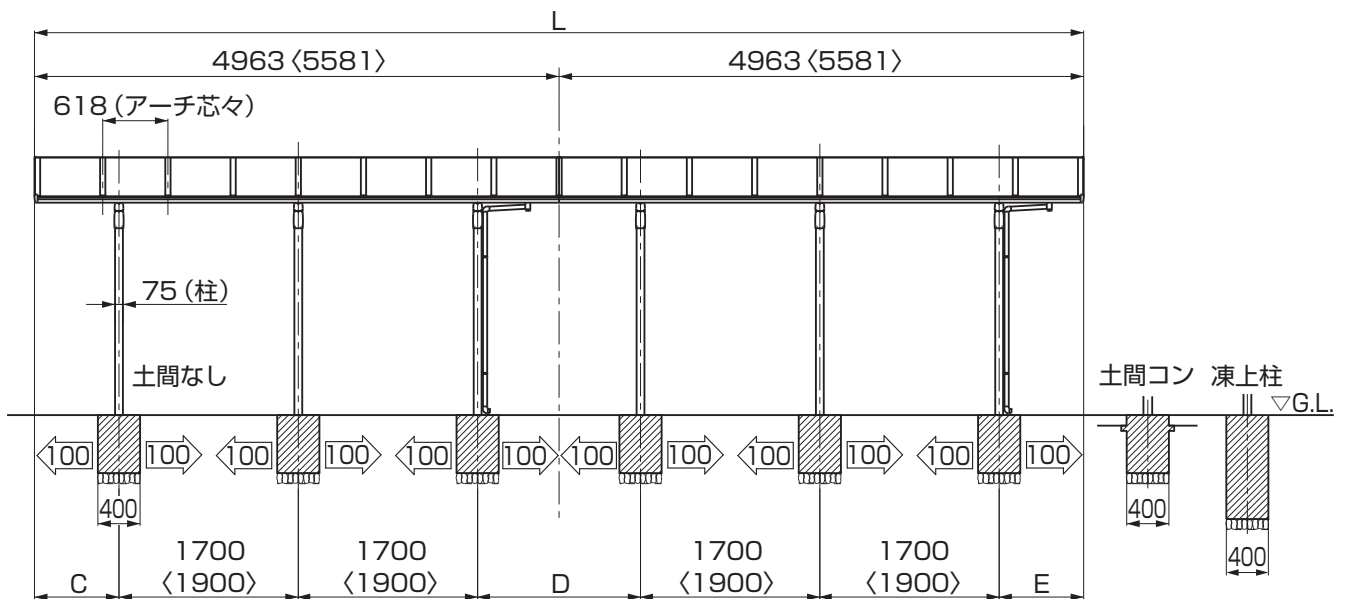


表2-1 単位mm

奥行き	L	C	D	E
50-50	9926	791	1544	791
50-56	10544		1653	900
56-56	11162	900	1762	

### 3 基本の施工方法

#### 1. 基礎の施工

1-1 基礎位置の墨出し ※〈 〉は奥行き56型を示します。

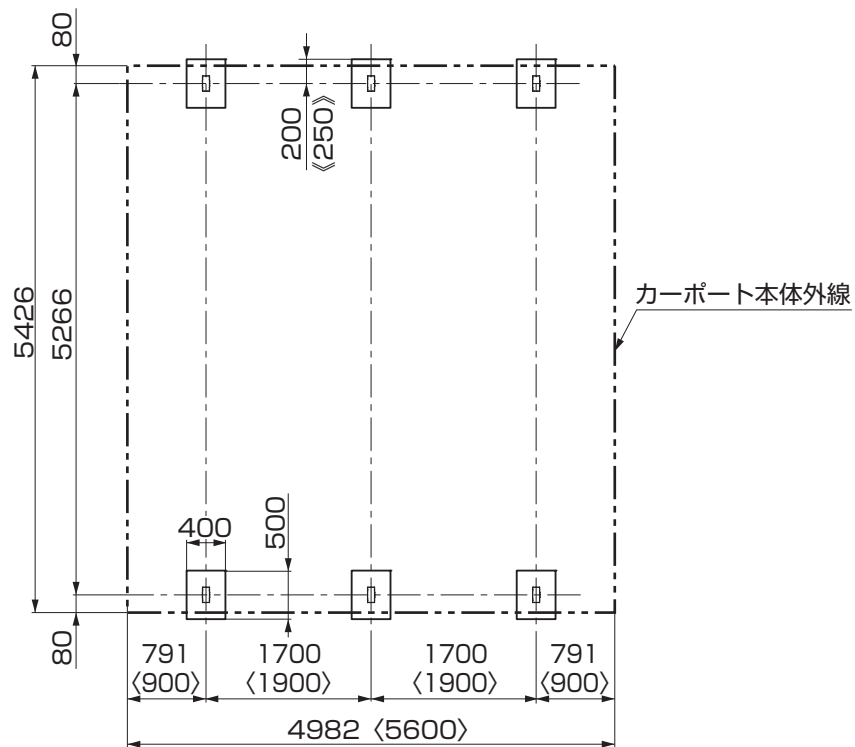


図 1-1

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

**補足**

- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉は土間コンクリート仕様を示します。

#### 1-2 基礎寸法

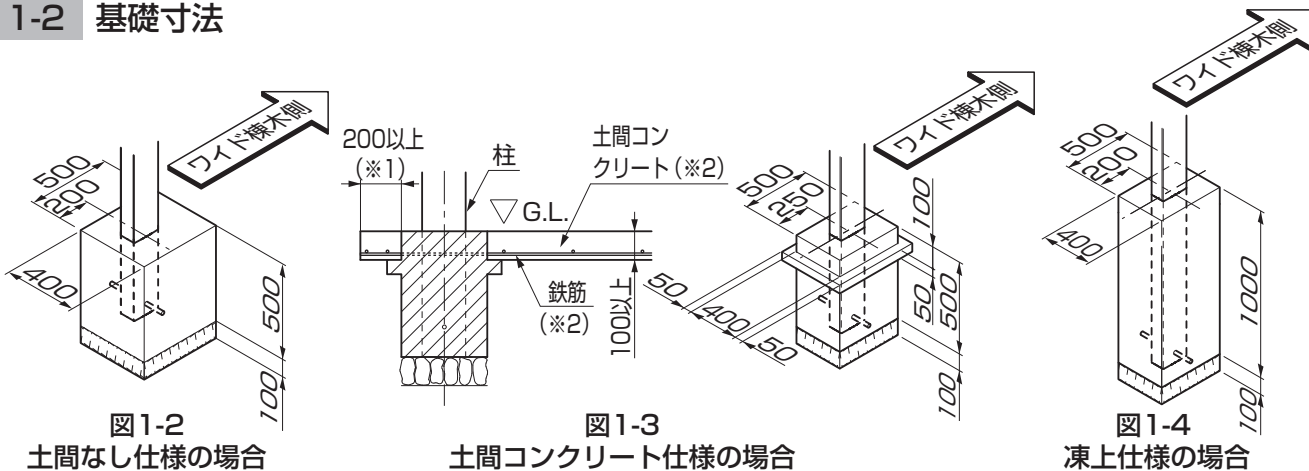


図 1-2  
土間なし仕様の場合

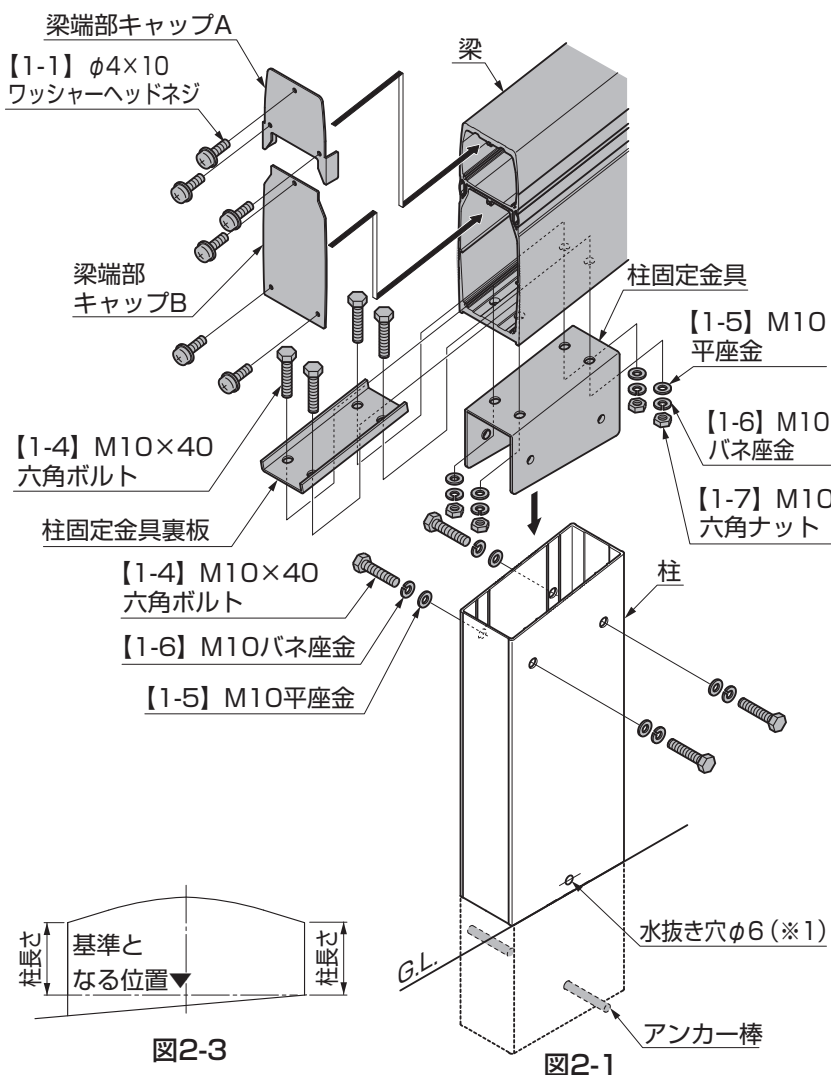
図 1-3  
土間コンクリート仕様の場合

図 1-4  
凍上仕様の場合

**ポイント**

- 基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。(※1)
- 土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。(※2)

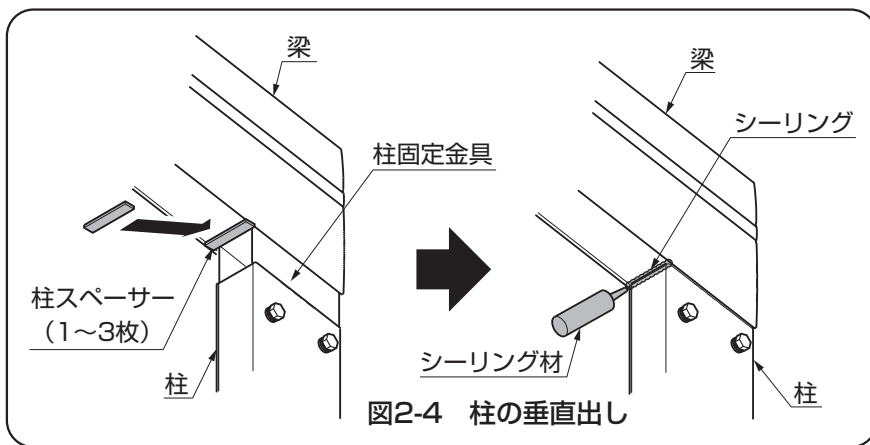
## 2. 柱と梁の取付け



**はりを、このラベルの矢印方向が同じになる様に並べ、施工してください。**

※矢印の向きを合わせないと、母屋を取付ける際、波打つおそれがあります。

図2-2 注意ラベル詳細



- ①柱にアンカー棒を差込んでください。(図2-1参照)
- ②柱固定金具と柱固定金具裏板を梁に【1-4】、【1-5】、【1-6】、【1-7】で取付けてください。(図2-1参照)
- ③梁を柱に【1-4】、【1-5】、【1-6】で取付けてください。(図2-1参照)

### ポイント

- 梁に貼ってあるラベルにしたがい、方向を合わせて取付けてください。このラベルは、梁の上面・中央に貼ってあります。(図2-2参照)

- ④梁端部キャップA・Bを【1-1】で取付けてください。(図2-1参照)

### 注意

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- 柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜き穴をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。(※1)

### ポイント

- 柱は基準となる位置から同じ高さとしてください。高さが違う場合は、ワイド棟木部に水がたまり、漏水するおそれがあります。(図2-3参照)

### 補足

- 柱の垂直が出ない場合は柱スペーサーを貼って調整してください。(図2-4参照)

### 3. ワイド棟木・母屋・後枠（落雪用）の取付け

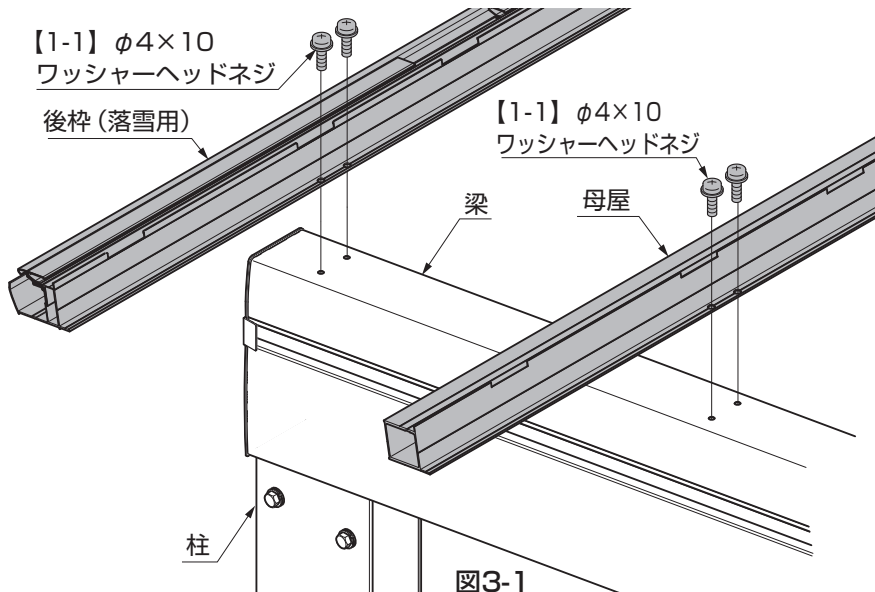


図3-1

①後枠（落雪用）を梁に【1-1】で取付けてください。（図3-1参照）

**ポイント**

●パネル受けを図3-2のように移動させてください。

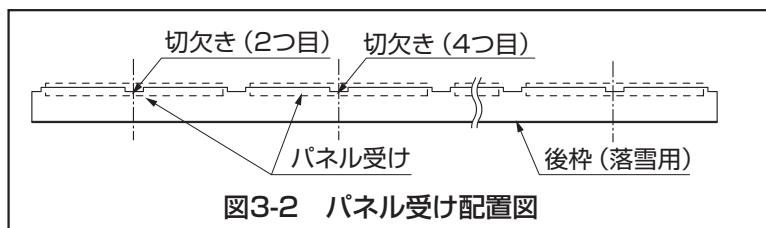


図3-2 パネル受け配置図

②梁の中央部にワイド棟木取付け金具を【1-1】で取付けて、ワイド棟木を【1-1】で固定してください。（図3-3参照）

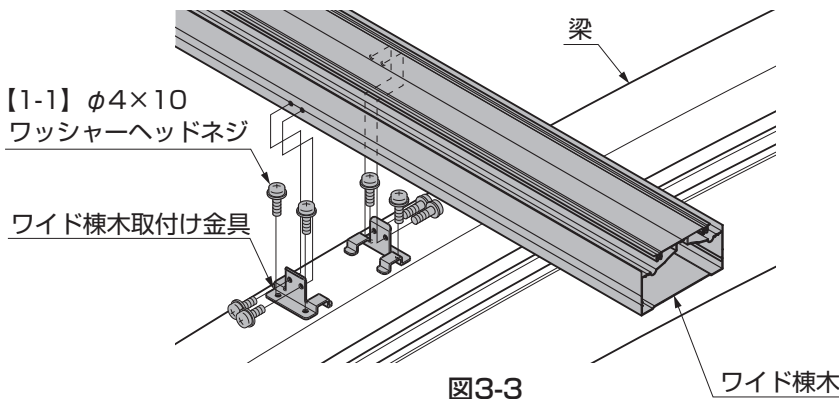


図3-3

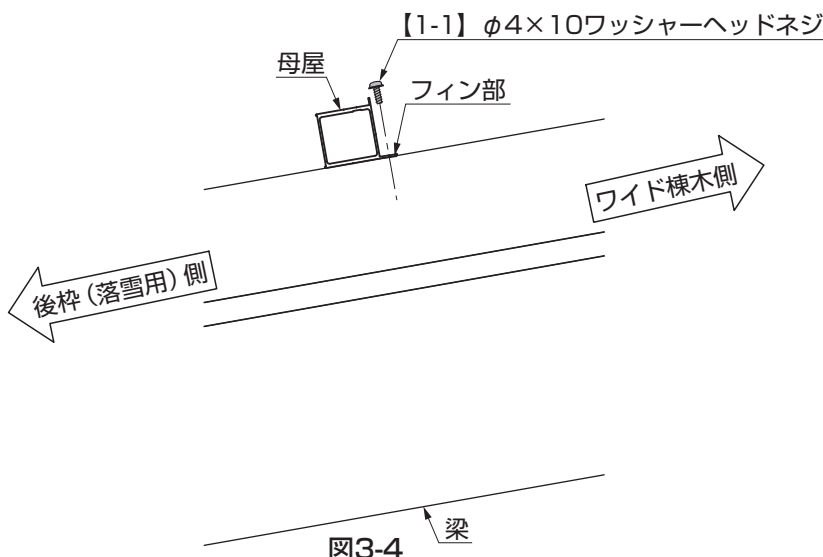


図3-4

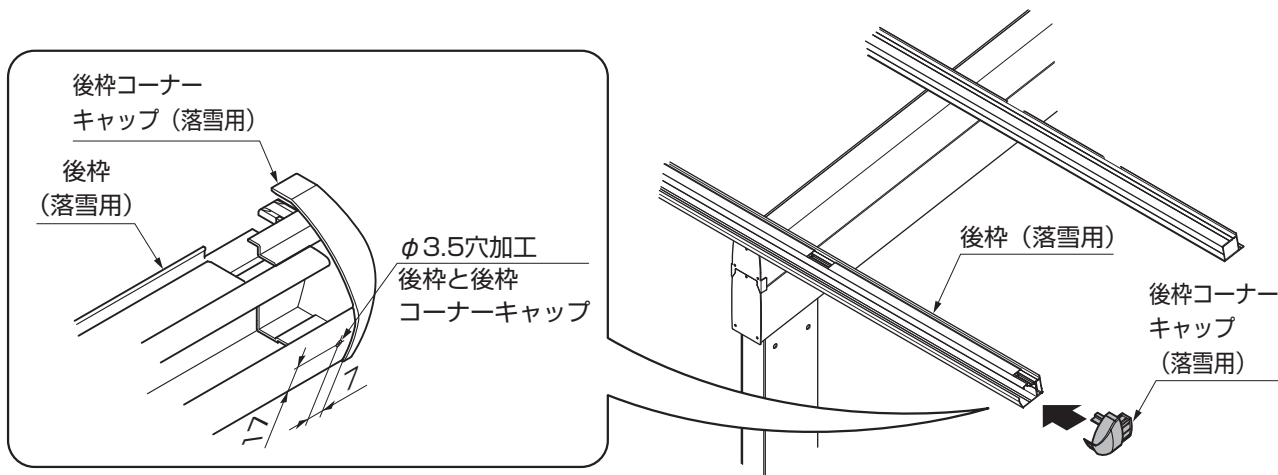
③ワイド棟木側にフィン部を向けて、母屋を梁に【1-1】で取付けてください。（図3-4参照）

**ポイント**

- 柱を移動した場合は、前枠・後枠（落雪用）・母屋を梁に合わせて後枠（落雪用）はφ5.5、前枠・母屋はφ4.5、ワイド棟木はφ3.5の穴加工を行なってください。
- 既存の加工穴には穴隠しシールを貼ってください。

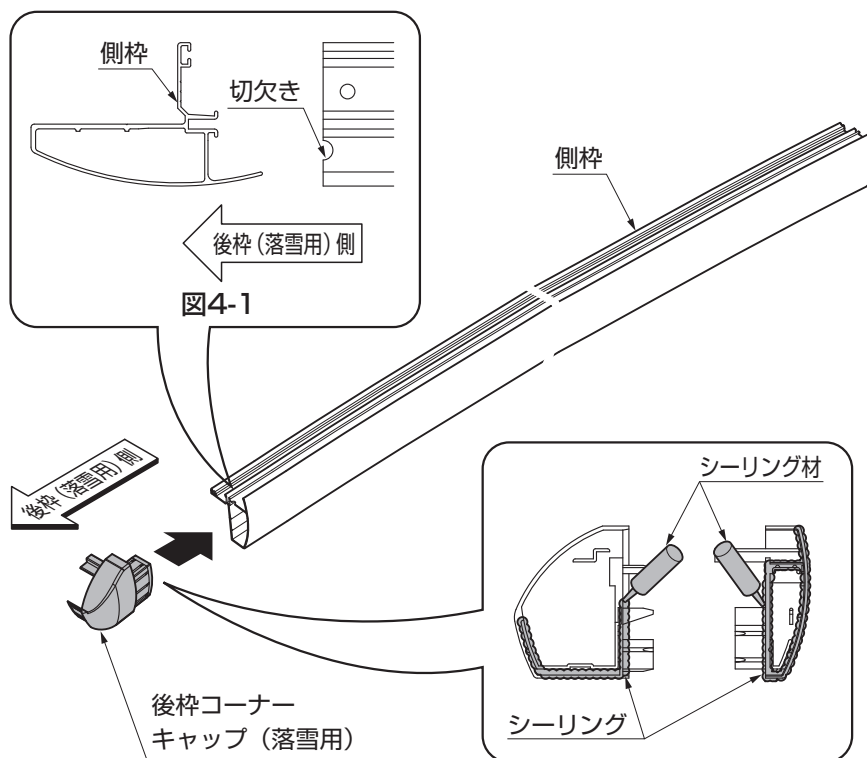
## 4. 側枠・アーチ・補強アーチの取付け

### 4-1 後枠、後枠コーナーキャップへの穴加工



- ①後枠コーナーキャップ (落雪用) を後枠 (落雪用) にはめ込み、その状態でφ3.5の穴を両部材にあけてください。
- ②後枠コーナーキャップ (落雪用) を一旦取外してください。

### 4-2 側枠の組立て



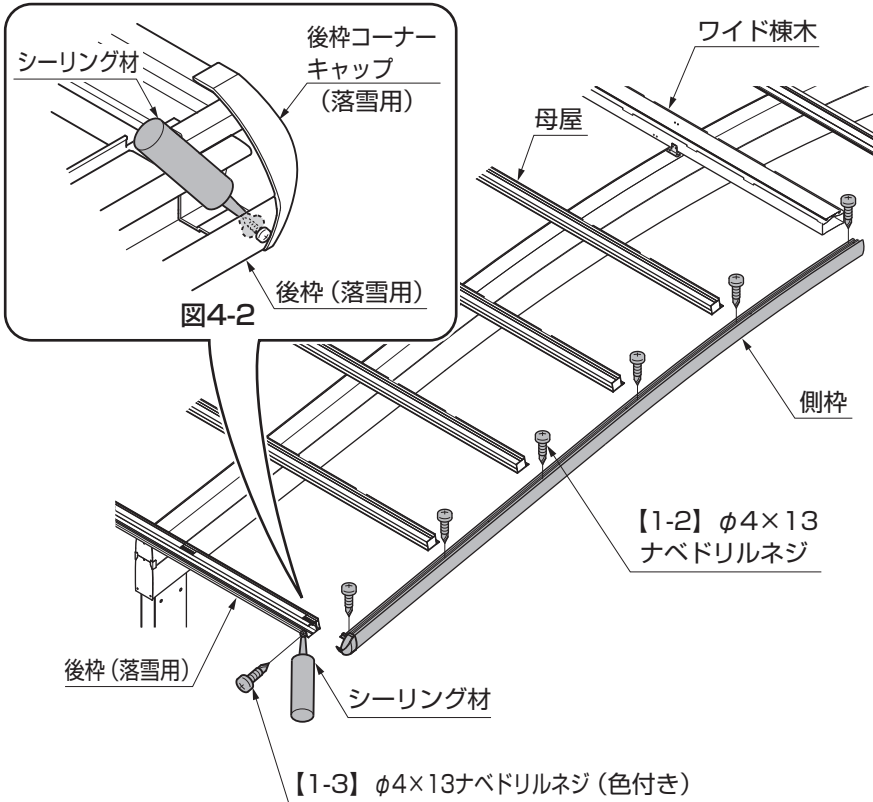
- ①後枠コーナーキャップ (落雪用) にシーリング材を充てんし、側枠に取付けてください。

#### ポイント

- 側枠には左右があります。切欠きが入っている方を後枠 (落雪用) 側にしてください。(図4-1参照)

## 4. つづき

### 4-3 側枠の取付け

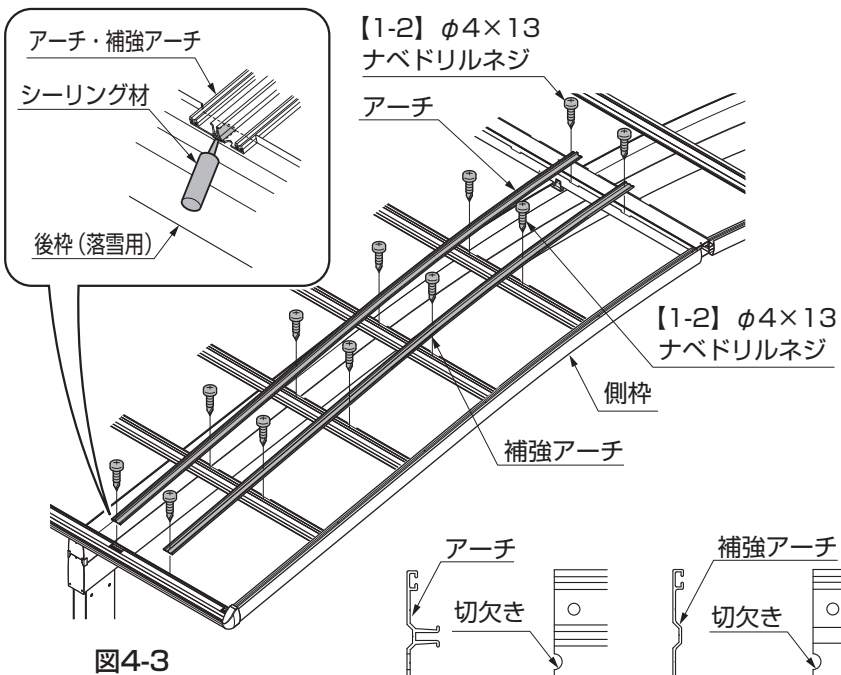


①後枠(落雪用)にあけたφ3.5の穴にシーリングをしてください。

②後枠(落雪用)・母屋・ワイド棟木に側枠の穴に合わせて【1-2】、【1-3】で取付けてください。

③後枠コーナーキャップと後枠のネジ止め部をシーリングしてください。(図4-2参照)

### 4-4 アーチ、補強アーチの取付け



①アーチ・補強アーチの前後を確認して、ワイド棟木、後枠(落雪用)・母屋にアーチ・補強アーチの穴を合わせて端部から補強アーチ、アーチ、補強アーチの順で交互に【1-2】で取付けてください。(図4-3、図4-4参照)

#### ポイント

●アーチ・補強アーチを後枠(落雪用)に取付ける前に、アーチ・補強アーチと後枠(落雪用)のすき間にシーリング材を充てんしてください。(図4-3参照)

②屋根枠まわりの対角・水平および柱の垂直を出してください。

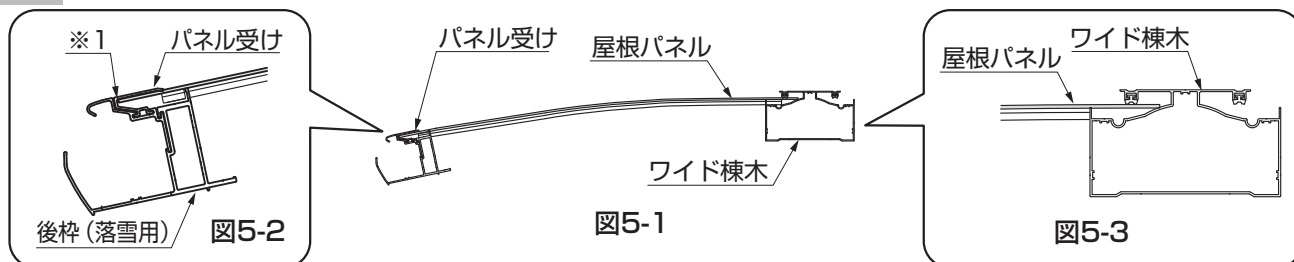
#### 補足

●後枠(落雪用)・母屋・ワイド棟木には加工穴はあいていません。

図4-4 アーチ、補強アーチ取付けの向き

## 5. 屋根パネルの取付け

### 5-1 屋根パネルの取付け

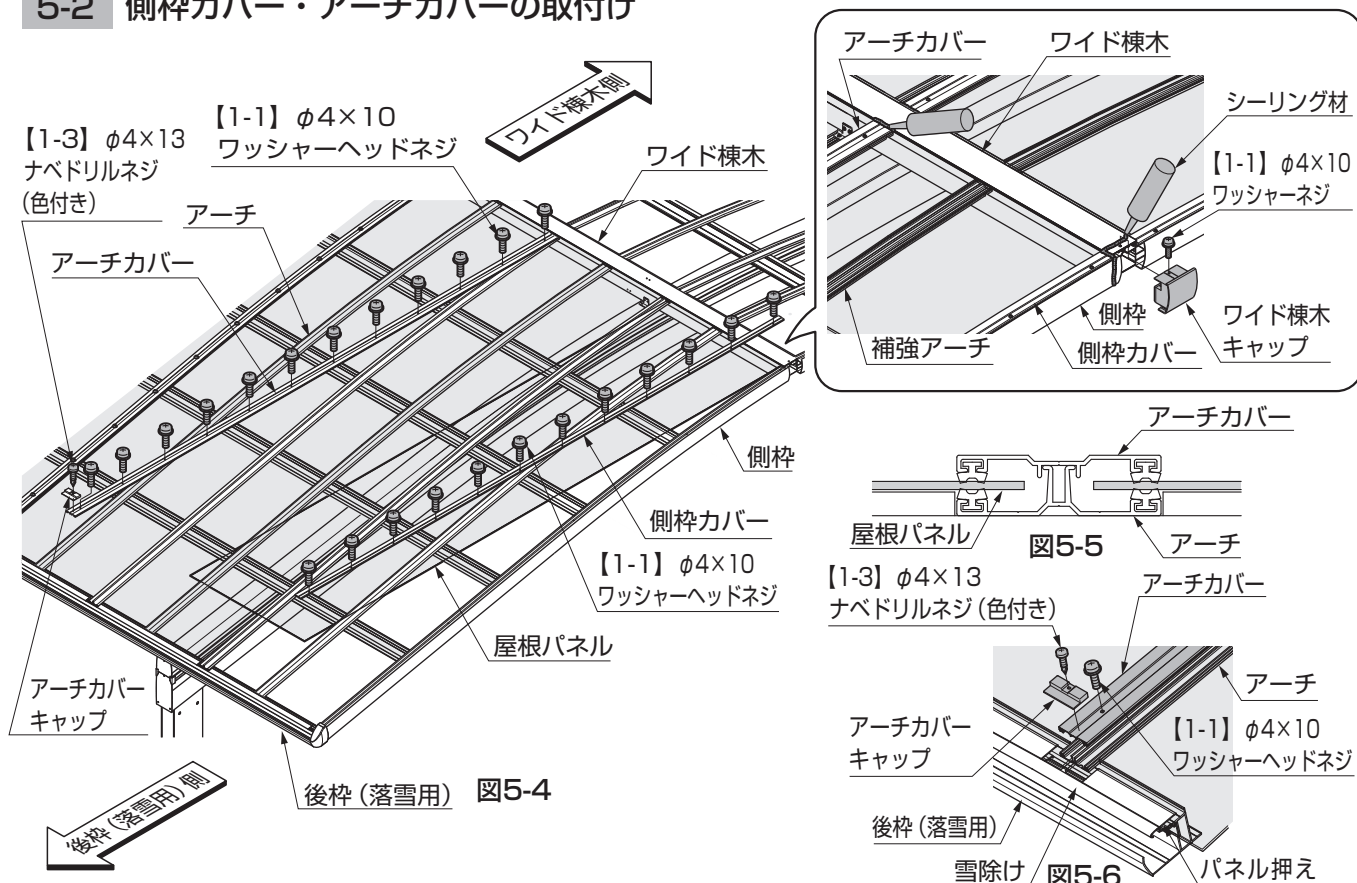


①屋根パネルをワイド棟木に差込み、後枠（落雪用）のパネル受けに差込んでください。

#### ポイント

- 屋根パネルは後枠（落雪用）側に突き当ててください。（※1）
- アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- 屋根パネルは必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

### 5-2 側枠カバー・アーチカバーの取付け

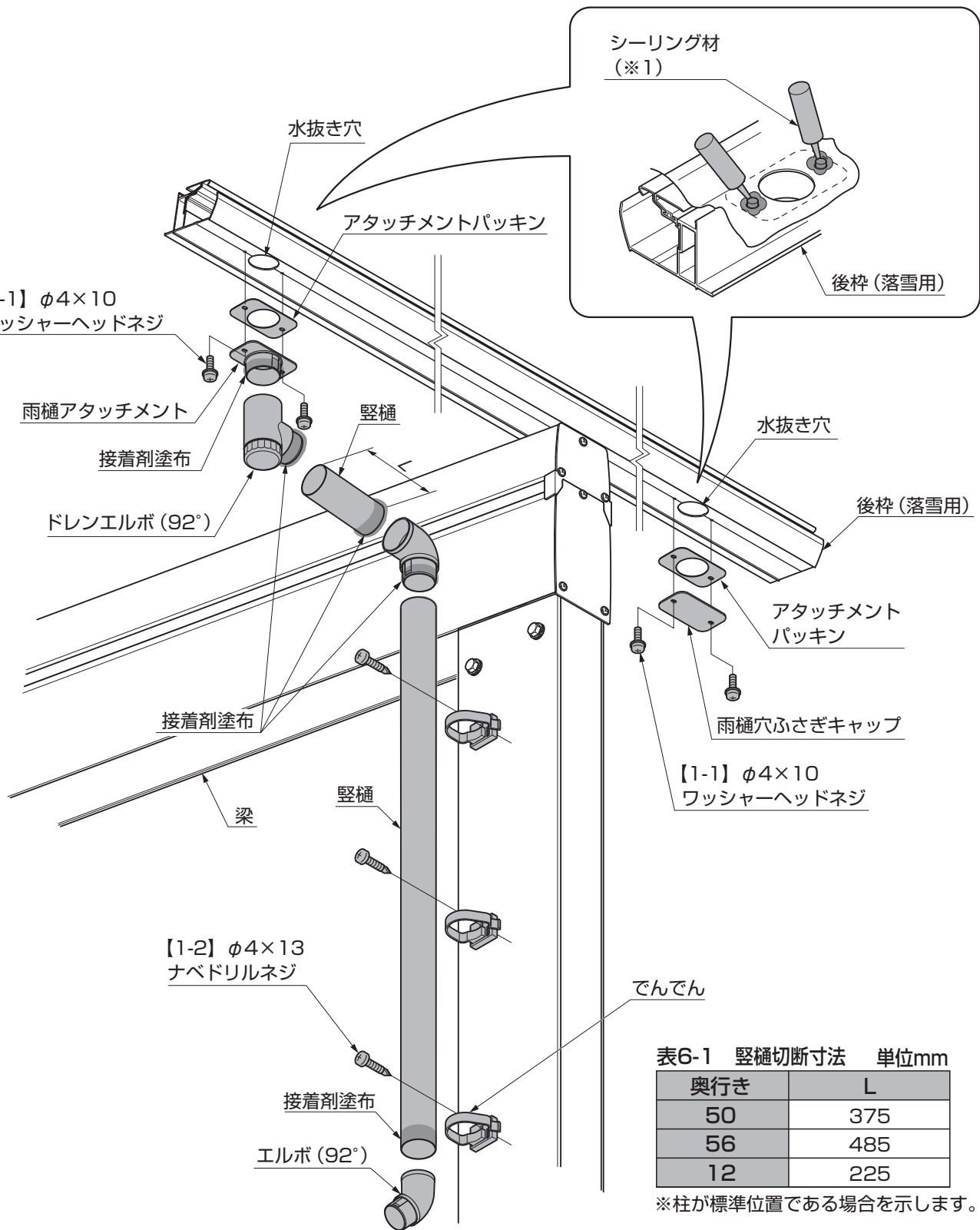


①アーチカバー・側枠カバーをワイド棟木に突き当てて、ワイド棟木側からアーチ・側枠に【1-1】で取付けてください。（図5-4参照）

#### ポイント

- アーチとアーチカバーがかみ合っていることを確認してください。（図5-5参照）
- ②アーチカバーとワイド棟木との間と側枠カバーとワイド棟木の間にシーリング材を充てんしてください。（図5-4参照）
- ③ワイド棟木キャップをワイド棟木に【1-1】で取付けてください。（図5-4参照）
- ④ワイド棟木とワイド棟木キャップの間にシーリング材を充てんしてください。（図5-4参照）
- ⑤アーチカバーキャップをアーチカバー端部に【1-3】で取付けてください。（図5-6参照）

## 6. 縦樋の取付け



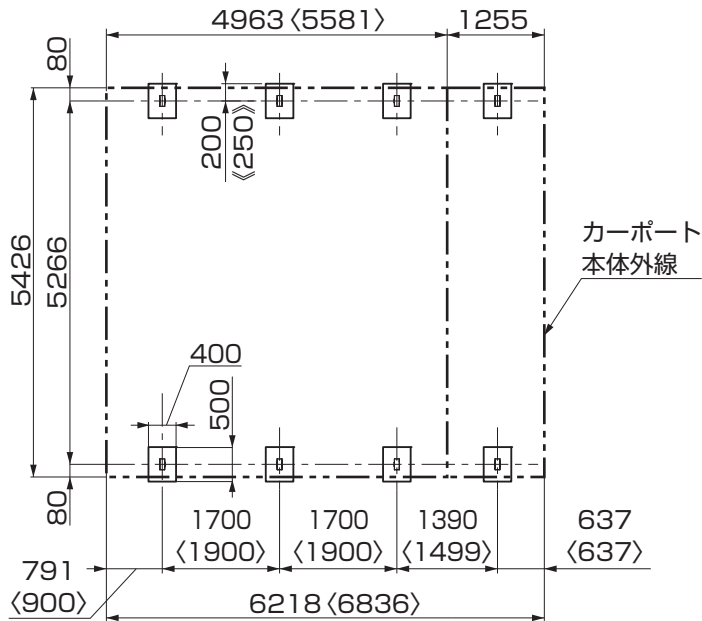
- ① 縦樋を切断してください。(表6-1参照)
- ② 後枠 (落雪用) 両端の片方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋アタッチメント、ドレンエルボ、縦樋、92° エルボ、でんでんを接着剤と【1-1】、【1-2】で取付けてください。
- ③ もう一方の水抜き穴に、アタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを【1-1】で取付けてください。
- ④ ネジ部にシーリングを充て込んでください。(※1)



## 4 縦連棟の施工方法

### 1. 基礎の施工

1-1 奥行き12延長タイプ ※〈 〉は奥行き56型を示します。

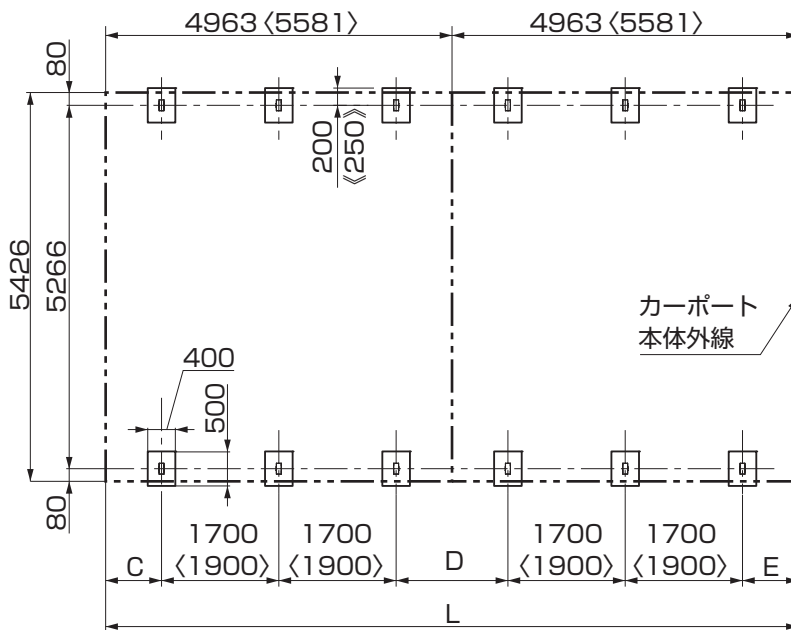


①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

#### 補足

- 基礎構造については「2 基本寸法と各部名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉は土間コンクリート仕様を示します。

1-2 奥行き縦連棟タイプ ※〈 〉は奥行き56型を示します。



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

#### 補足

- 基礎構造については「2 基本寸法と各部名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉は土間コンクリート仕様を示します。

表1-1

単位mm

奥行き	L	C	D	E
50-50	9926	791	1544	791
50-56	10544		1653	900
56-56	11162	900	1762	

## 2. 本体の連結

### 2-1 連棟部の加工

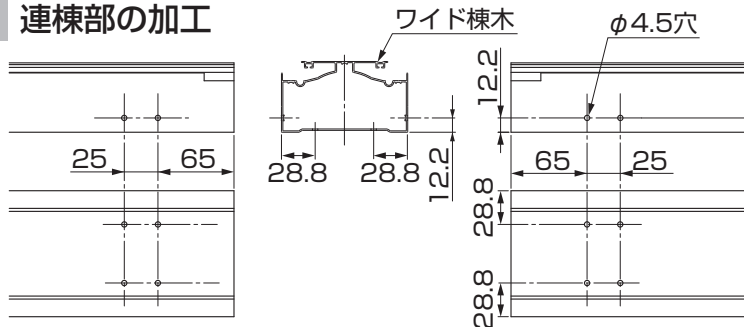


図2-1 ワイド棟木の加工

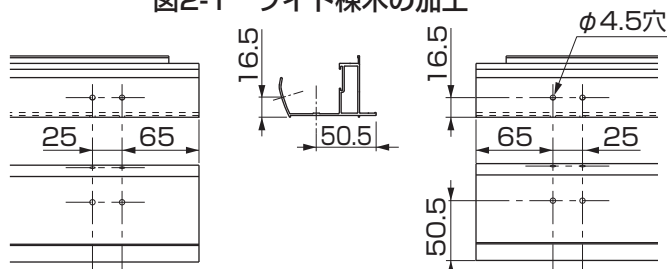


図2-2 後枠(落雪用)の加工

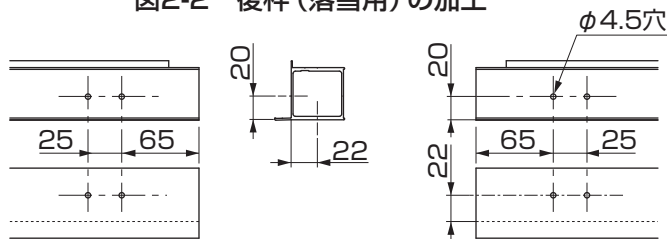


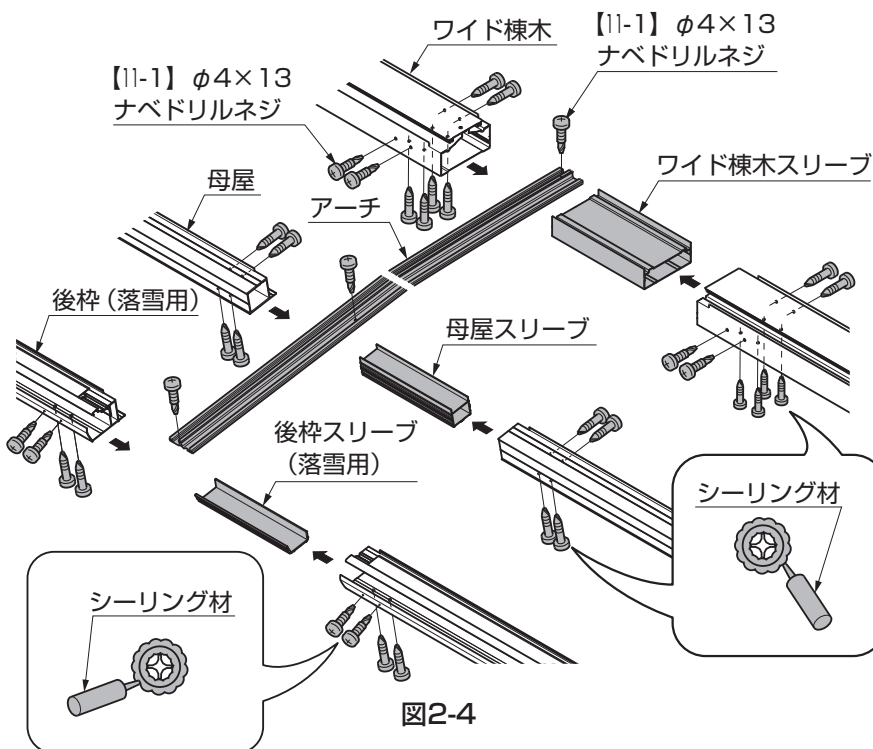
図2-3 母屋の加工

①後枠(落雪用)・ワイド棟木・母屋の連棟側を穴加工してください。(図2-1、図2-2、図2-3参照)

#### ポイント

●母屋側面の穴加工はフィン側にしてください。

### 2-2 連棟部の連結



①ワイド棟木・母屋・後枠(落雪用)にそれぞれワイド棟木スリーブ、母屋スリーブ、後枠スリーブ(落雪用)を【11-1】で取付けて連結してください。(図2-4参照)

②全ての【11-1】の回りにシーリング材を充てんしてください。

#### ポイント

●連棟部分以外の組立ては、「3 基本の施工方法」を参照してください。

## 2-3 シーリング処理

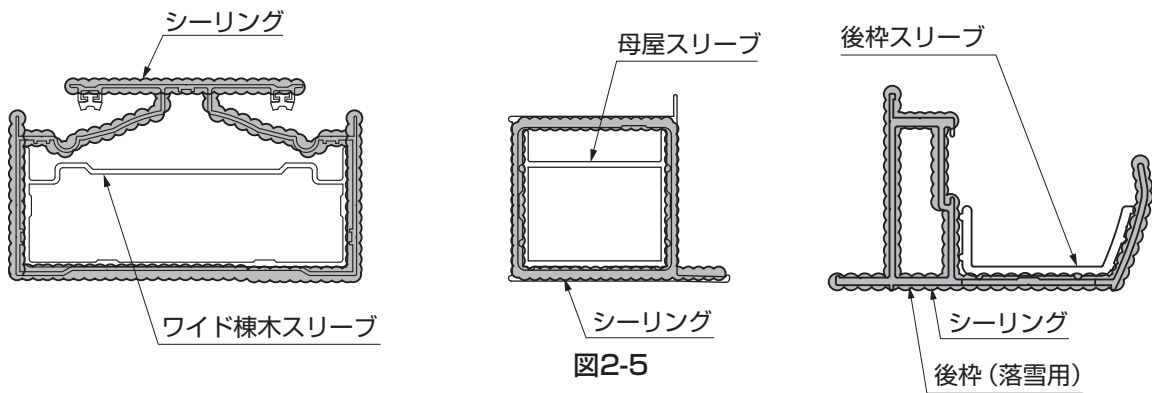


図2-5

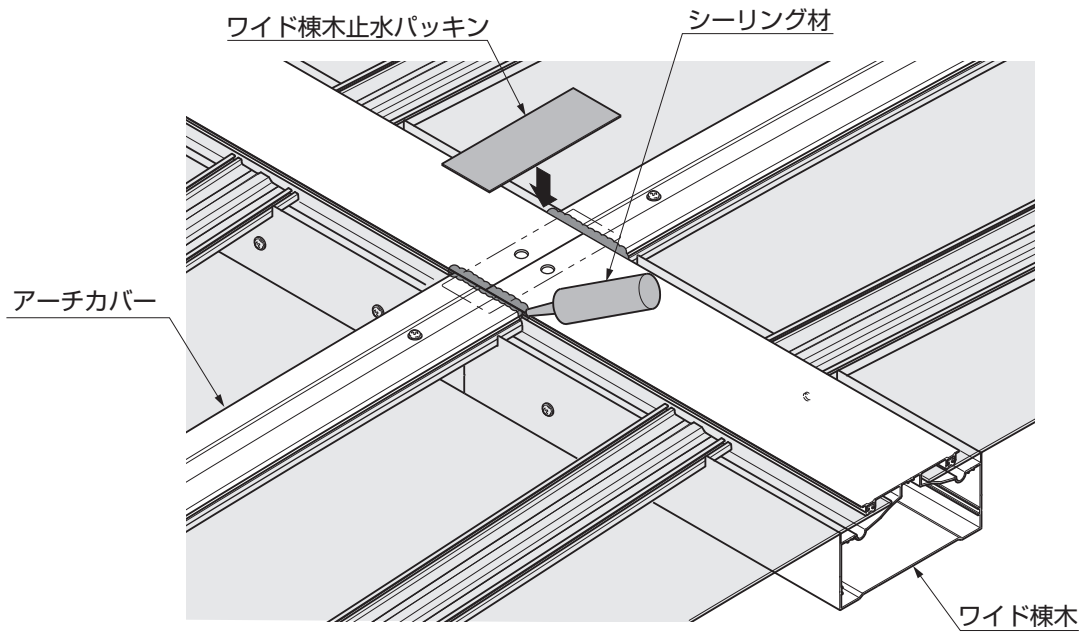


図2-6

- ① 連棟部分にシーリング材を充てんしてください。(図2-5参照)
- ② ワイド棟木の接続部分に、ワイド棟木止水パッキンを貼付けてください。(図2-6参照)

